

環境経営レポート

2019年度

対象期間：2020年5月～7月



ニッポウ興産株式会社

作成日：2020年 9 月 2 日

目次

1. 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
2. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3~10
3. 主な環境負荷の実績・・・・・・・・・・・・・・・・P11
4. 環境経営目標及びその実績・・・・・・・・・・P12~13
5. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容・・・P14
6. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無・・・・・・・・・・P15
7. 代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・P16
8. 環境経営活動の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・P17

1.環境経営方針

環境経営理念

ニッポウ興産株式会社は、持続的成長が可能な未来を実現すべく、経営における課題とチャンス定期的に明確にし、環境と調和した事業活動を通じて、環境保全活動に取り組みます。

環境経営方針

1. 環境に配慮したサービスを提供し、お客様の環境負荷の低減及びSDGsの達成に貢献します。
2. 環境関連法規制等を遵守します。
3. 次の取り組みを推進し、継続的改善を行います。
 - ①エネルギー使用の合理化による二酸化炭素排出量の削減
特に燃料使用量の効率化
 - ②水使用量の削減
 - ③リサイクル処理の推進
 - ④ペーパーレス化の推進
4. 環境経営方針を全従業員に周知し、環境意識の向上を図り、環境に配慮した行動の定着を目指します。

2020年 4月 22日 制定

ニッポウ興産株式会社

代表取締役 田中 憲

2.組織の概要

1. 事業所及び代表者

ニッポウ興産株式会社
代表取締役 田中 憲

2. 所在地

本社 兵庫県姫路市飾磨区野田町157番地2
TEL(079)286-8626 FAX(079)286-8627
岡山事業所 岡山県都窪郡早島町早島720番1、721番
TEL(086)483-2336 FAX(086)480-1145
倉敷事業所 岡山県倉敷市茶屋町早沖1203番1、1203番2、1203番3
TEL(086)420-2727 FAX(086)420-2728

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者及び常務取締役 田中 亮 TEL(079)286-8626
担当者 E-mail : r_tanaka@nippou-kousan.co.jp

4. 事業内容

- ①産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業
- ②中間処理事業（産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の中間処理業）
（圧縮・減容・破砕、高圧蒸気滅菌）

5. 法人設立年月日

昭和62年9月26日

6. 資本金

3,000万円

2.組織の概要

7. 事業の規模（2019年8月～2020年7月）

売上高	38,000万円
従業員数	13名
床面積	本社 152.34㎡
	岡山事業所 1,243㎡
	倉敷事業所 1,320.99㎡
受託した産業廃棄物の処理量（処理実績）	
廃棄物収集運搬量	1903㎡(2020年5月-7月実績)
受託した中間処理量	21.52㎡(2020年5月-7月実績)

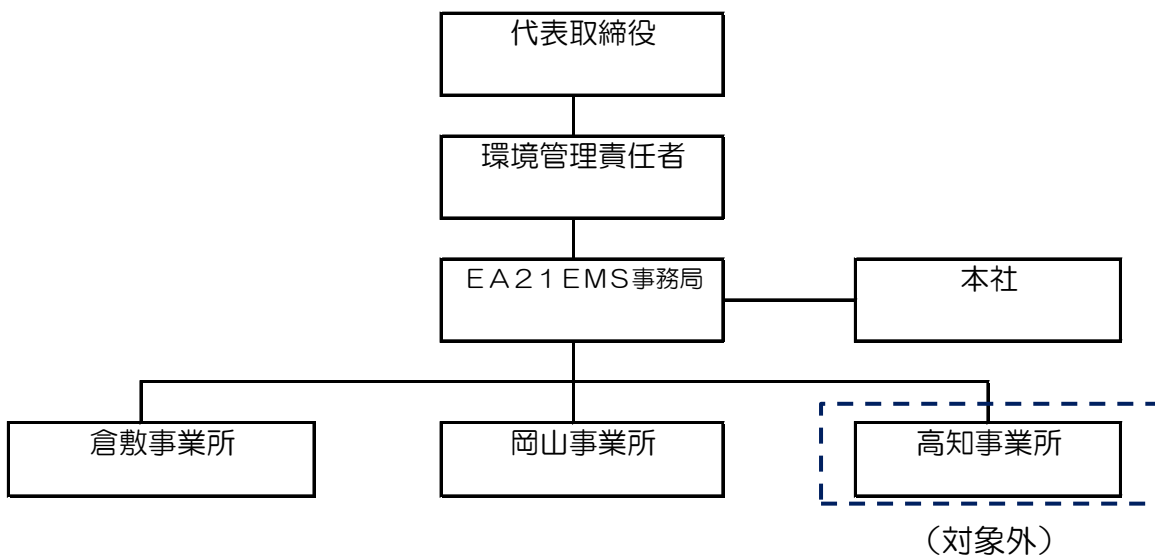
8. 事業年度

8月～翌7月

9. 認証・登録の対象組織・活動

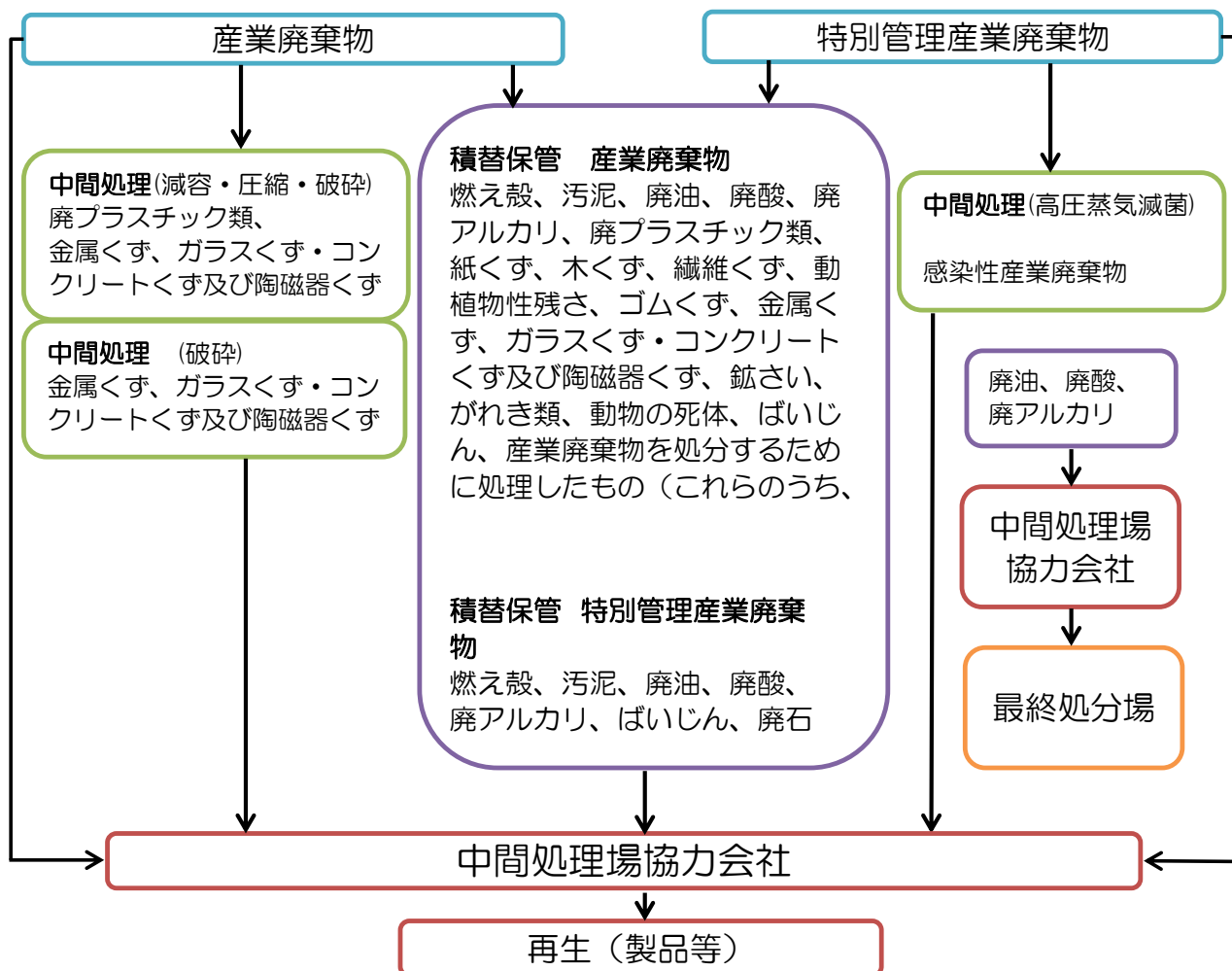
登録組織名：ニッポウ興産株式会社
対象事業所：本社、岡山事業所、倉敷事業所
対象外：高知事業所（2021年度までに認証登録予定）
活動：（特別管理）産業廃棄物の収集運搬業・中間処理業

10. 環境経営システム組織図



2.組織の概要

11. (特別管理)産業廃棄物処理フロー図



12. 許可の内容

- 処理業許可 別紙-1に記載
- 産業廃棄物収集運搬業許可 別紙-2に記載
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 別紙-3に記載

13. 施設等の状況

(1) (特別管理)産業廃棄物収集運搬車両

バン 9台 (13t車3台、8t車2台、4t車4台)
 普通自動車 4台
 フォークリフト 2台

処理業の許可（他の都道府県・政令市のものを含む）を有している場合はその許可番号

都道府県・市区名	区 分	許 可 番 号	許 可 年 月 日	有 効 年 月 日
処分業				
倉敷市	産業廃棄物	10020001510	平成29年6月12日	令和3年3月27日
	特別管理産業廃棄物	10070001510	平成30年6月26日	令和5年6月25日
収集運搬業・積替保管含む				
岡山県	産業廃棄物	03313001510	平成28年8月16日	令和3年8月15日
	特別管理産業廃棄物	03363001510	平成30年6月5日	令和5年5月23日
倉敷市	産業廃棄物	10010001510	平成28年8月16日	令和3年8月15日
	特別管理産業廃棄物	10060001510	平成30年6月19日	令和5年5月23日
高知県	産業廃棄物	03910001510	令和2年6月4日	令和6年4月25日
	特別管理産業廃棄物	03960001510	令和2年6月4日	令和6年4月25日
収集運搬業・積替保管除く				
兵庫県	産業廃棄物	02804001510	令和元年12月27日	令和6年12月26日
	特別管理産業廃棄物	02854001510	令和元年12月27日	令和6年12月26日
鳥取県	産業廃棄物	03101001510	平成28年10月16日	令和3年10月15日
	特別管理産業廃棄物	03151001510	平成30年6月29日	令和5年6月28日
島根県	産業廃棄物	03200001510	令和2年1月12日	令和7年1月11日
	特別管理産業廃棄物	3250001510	平成30年2月20日	令和5年1月28日
山口県	産業廃棄物	03500001510	平成28年8月9日	令和3年8月8日
	特別管理産業廃棄物	03550001510	平成30年5月21日	令和5年5月20日
広島県	産業廃棄物	03400001510	令和2年1月13日	令和7年1月12日
	特別管理産業廃棄物	03450001510	令和2年1月13日	令和7年1月12日
香川県	産業廃棄物	03709001510	令和元年5月23日	令和6年5月5日
	特別管理産業廃棄物	03759001510	令和元年5月23日	令和6年5月5日
愛媛県	産業廃棄物	03807001510	平成28年1月6日	令和2年12月17日
	特別管理産業廃棄物	3857001510	平成28年1月6日	令和2年12月17日
徳島県	産業廃棄物	3600001510	平成31年3月30日	令和6年3月29日
	特別管理産業廃棄物	3650001510	平成31年3月30日	令和6年3月29日
福岡県	産業廃棄物	04000001510	平成27年11月1日	令和2年10月31日
	特別管理産業廃棄物	04050001510	平成27年11月1日	令和2年10月31日
大阪府	産業廃棄物	02700001510	平成28年3月2日	令和3年3月1日
	特別管理産業廃棄物	02750001510	平成28年3月2日	令和3年3月1日
京都府	産業廃棄物	02600001510	平成28年4月18日	令和3年4月8日
	特別管理産業廃棄物	02650001510	平成28年4月18日	令和3年4月8日
奈良県	産業廃棄物	02900001510	平成28年4月27日	令和3年4月26日
	特別管理産業廃棄物	02950001510	平成28年4月27日	令和3年4月26日
滋賀県	産業廃棄物	02501001510	平成29年10月10日	令和4年10月9日
	特別管理産業廃棄物	02551001510	平成29年10月10日	令和4年10月9日
和歌山県	産業廃棄物	03000001510	令和元年10月28日	令和4年5月15日
	特別管理産業廃棄物	03050001510	平成29年5月16日	令和4年5月15日
愛知県	産業廃棄物	02300001510	平成31年3月14日	令和6年2月5日
	特別管理産業廃棄物	02350001510	平成31年3月14日	令和6年2月5日
三重県	産業廃棄物	02400001510	平成30年4月10日	令和5年2月24日
	特別管理産業廃棄物	02450001510	平成30年4月10日	令和5年2月24日
長野県	産業廃棄物	2009001510	平成31年2月24日	令和6年2月23日
	特別管理産業廃棄物	2059001510	平成31年2月24日	令和6年2月23日
東京都	産業廃棄物	1300001510	平成29年11月11日	令和4年11月10日
	特別管理産業廃棄物	1350001510	平成29年11月11日	令和4年11月10日
神奈川県	産業廃棄物	01403001510	平成31年3月12日	令和5年12月9日
	特別管理産業廃棄物	01453001510	平成31年3月12日	令和5年12月9日
埼玉県	産業廃棄物	01101001510	平成31年3月18日	令和6年2月11日
	特別管理産業廃棄物	01151001510	平成31年3月18日	令和6年2月11日
千葉県	産業廃棄物	01200001510	平成31年4月12日	令和6年2月15日
	特別管理産業廃棄物	01250001510	平成31年4月12日	令和6年2月15日
茨城県	産業廃棄物	00801001510	平成30年3月12日	令和4年12月2日
	特別管理産業廃棄物	00851001510	平成30年3月12日	令和4年12月2日

〈産業廃棄物収集運搬業許可〉

●：許可取得

府・県名		岡山県	倉敷市	兵庫県	鳥取県	島根県	山口県	広島県	香川県	愛媛県	徳島県	高知県	福岡県	大阪府	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	愛知県	三重県	長野県	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	茨城県	
燃え殻		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	
汚泥		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃油		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃酸		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃アルカリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃プラスチック類		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
紙くず		●	●			●	●		●		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
木くず		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
繊維くず		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
動植物性残さ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ゴムくず		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金属くず		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ガラスくず等		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
鋳さい		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
がれき類		●	●	●		●	●		●		●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
動物(家畜)の死体		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ばいじん(ダスト類)		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物処理物 政令第2条第13号廃棄物		●	●			●	●		●	●		●	●					●			●	●	●		●	●	●
動物系固形不要物																						●					
石綿含有産業廃棄物		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水銀使用製品産業廃棄物		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水銀含有ばいじん等	燃え殻	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	汚泥	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	廃アルカリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	鋳さい	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ばいじん	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

2.組織の概要

(2) 積替保管施設

1. 岡山事業所

所在地	岡山県都窪郡早島町大字早島字真磯720番1、721番	
面積	1243m ²	
保管上限	産業廃棄物：105m ³ (容器保管)	特別管理産業廃棄物：87.3m ³ (容器保管)
産業廃棄物の種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、動物の死体、ばいじん、産業廃棄物処理物（これらのうち、自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。） 以上18種類	
特別管理産業廃棄物の種類	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃石綿等、燃え殻、汚泥、ばいじん 以上8種類	

2. 倉敷事業所

所在地	岡山県倉敷市茶屋町早沖1203-1.-2.-3	
面積	産業廃棄物：64.4m ²	特別管理産業廃棄物：144m ²
保管上限	産業廃棄物：25.0 t (容器保管)	特別管理産業廃棄物：52.8 t (容器保管)
産業廃棄物の種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）・陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。）、鋳さい、がれき類、動物の死体（30日令未満の鶏に限る。）、ばいじん、産業廃棄物を処分するために処理したもの（これらのうち、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。） 以上18種類	
特別管理産業廃棄物の種類	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃石綿等、燃え殻、汚泥、ばいじん 以上8種類	

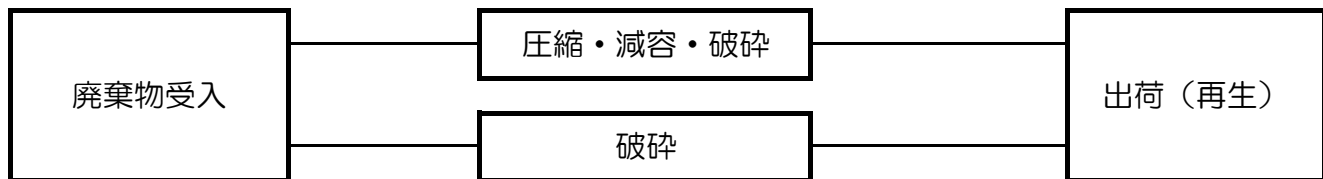
2.組織の概要

(3) 中間処理施設

●産業廃棄物処分量

許可番号	第10020001510号
事業の区分	中間処理（圧縮・減容・破碎、破碎）
取り扱う産業廃棄物の種類(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を除く。)	[圧縮・減容・破碎] 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず(これらのうち、自動車等破碎物を除く。)
	[破碎] 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず
(1) 施設の種類の種類	圧縮・減容・破碎施設
設置場所	岡山県倉敷市茶屋町早沖1203番1
設置年月日	平成27年2月18日
処理能力	廃プラスチック類 1.92t/日 金属くず 7.68t/日 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず 6.72t/日
(2) 施設の種類の種類	破碎施設
設置場所	岡山県倉敷市茶屋町早沖1203番1
設置年月日	平成29年9月22日
処理能力	金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず 1.9t/日

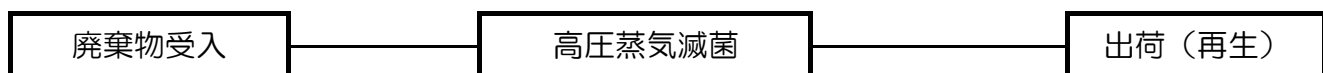
(処理工程図)



●特別管理産業廃棄物処分量

許可番号	第10070001510号
事業の区分	中間処理（高圧蒸気滅菌）
取り扱う産業廃棄物の種類(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を除く。)	感染性産業廃棄物
施設の種類の種類	高圧蒸気滅菌施設 2基
設置場所	岡山県倉敷市茶屋町早沖1203番1
設置年月日	平成27年2月18日
処理能力	14.1m ³ /日/基

(処理工程図)



3. 主な環境負荷の実績

1. 環境負荷の実績(2020年5月-7月)

下記表は、2018年度(2019年5月-7月)を基準に2019年度(2020年5月-7月)の「二酸化炭素排出量」、「廃棄物排出量」(自社排出)、「廃棄物排出量」(中間処理後)、「一般廃棄物排出量」、「水使用量」と、事業活動に関連する「廃棄物収集運搬量」、「運搬量(1m³)当たりの軽油消費量」の実績です。

なお、「二酸化炭素排出量」の購入電力排出係数は、本社は 0.334kg-CO₂/kWh(関西電力)、岡山事業所、倉敷事業所は 0.636kg-CO₂/kWh(中国電力)を使用しています。(平成30年度実績使用)

項目		単位	2018年度(基準年度) (2019年5月-7月)	2019年度 (2020年5月-7月)
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	42,014	52,982
二酸化炭素排出量内訳	電気 (本社)	kWh	1,612	1,476
		kg-CO ₂	538	493
	電気 (岡山事業所)	kWh	964	806
		kg-CO ₂	613	513
	電気 (倉敷事業所)	kWh	280	272
		kg-CO ₂	178	173
	軽油	L	13,687	18,238
		kg-CO ₂	35,312	47,054
	ガソリン	L	2,312	2,042
		kg-CO ₂	5,364	4,737
液化石油ガス(LPG)	kg	2.7	3.9	
	kg-CO ₂	8	12	
産業廃棄物排出量(自社排出)		kg	699.5	1,776
産業廃棄物排出量(中間処理後)		kg	2,203	5,738
一般廃棄物排出量		kg	未計測	72.1
水使用量		m ³	24	24
廃棄物収集運搬量		m ³	1,761	1,903
運搬量(1m ³)当たりの軽油消費量		L	7.7	9.6

4.環境経営目標及びその実績

1. 中長期目標

項目	年度	基準値 2018年度 2018年8月～ 2019年7月	2019年年度 2019年8月～ 2020年7月	2020年年度 2020年8月～ 2021年7月	2021年年度 2021年8月～ 2022年7月	2022年年度 2022年8月～ 2023年7月	2023年年度 2023年8月～ 2024年7月
			目標	目標	目標	目標	目標
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂ 対基準 (%)	軽油使用量の実績が不明な為、目標は未設定。					
本社 電力使用量削減	kWh	8,536	8,451	8,365	8,280	8,195	8,109
	kg-CO ₂	2,851	2,823	2,794	2,765	2,737	2,708
	対基準 (%)	100	(Δ1%)	(Δ2%)	(Δ3%)	(Δ4%)	(Δ5%)
岡山事業所・倉敷事業所 電力使用量削減	kWh	5,498	5,443	5,388	5,333	5,278	5,223
	kg-CO ₂	3,497	3,462	3,427	3,392	3,357	3,322
	対基準 (%)	100	(Δ1%)	(Δ2%)	(Δ3%)	(Δ4%)	(Δ5%)
収集運搬における環境配慮 (事業所内で使用する重 機の軽油使用量の削減)	L	実績 不明	実績 不明	実態 把握	取組 開始	取組 開始	取組 開始
	kg-CO ₂	実績 不明	実績 不明	実態 把握	取組 開始	取組 開始	取組 開始
	対基準 (%)			(基準年)	Δ1%	Δ2%	Δ3%
軽油使用量の効率化 (収集運搬車の燃費向上)	(L/m)	8.3	8.2	8.1	8.1	8.0	7.9
	対基準 (%)	100	(Δ1%)	(Δ2%)	(Δ3%)	(Δ4%)	(Δ5%)
II. 水使用量の削減	m ³	61.0	60.4	59.8	59.2	58.6	58.0
	対基準 (%)	100	(Δ1%)	(Δ2%)	(Δ3%)	(Δ4%)	(Δ5%)
III. リサイクル処理の推進 自社排出廃棄物の リサイクル推進	排出廃棄物量(kg)	2,278					
	リサイクル 処理量(kg)	2,278					
	リサイクル化率 対基準 (%) (基準年度が100%の場 合は維持。それ以外は 1%増)	100	100	100	100	100	100
IV. ペーパーレス化の推進 紙使用量の削減 (ペーパーレス化)	枚数	実績 不明	実績 不明	実態 把握	取組 開始	取組 開始	取組 開始
	対基準 (%)			(基準年)	Δ1%	Δ2%	Δ3%
V 環境関連活動	環境に配慮したサービス 及びお客様の環境負荷の 低減及びSDGsの達成に 貢献する。	数値目標は定めず、お客様にメスキュードシステムを勧める。					
	環境関連法規制等の 遵守	法規制等の無違反					
	環境経営方針を全従業員 に周知し、環境意識 の向上を図り、環境に 配慮した行動の定着を 目指す。	環境会議を3ヶ月に1度実施する。 産廃協会主催の清掃活動へ参加する。					

「二酸化炭素排出量」の購入電力排出係数は、本社は 0.334kg-CO₂/kWh(関西電力)、岡山事業所、倉敷事業所は 0.636kg-CO₂/kWh(中国電力)を使用しています。(平成30年度実績使用)

4.環境経営目標及びその実績

2. 試行運用期間中の実績と評価

項目	年度	基準値 2018年度 2019年5月-7月	試行運用期間における実績 試行運用期間2019年度(2020年5月~7月)			
			目標	実績	達成度(%)	評価
			I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂ 対基準(%)		
本社 電力使用量削減	kWh	1,612	1,596	1,476		
	kg-CO ₂ 対基準(%)	538 100	533 (△1%)	493	92.5	○
岡山事業所・倉敷事業所 電力使用量削減	kWh	1,244	1,232	1,078		
	kg-CO ₂ 対基準(%)	791 100	783 (△1%)	686	87.5	○
収集運搬における環境配慮 (事業所内で使用する重機 の軽油使用量の削減)	L	実績 不明	実態 把握	把握中		
	kg-CO ₂ 対基準(%)	実績 不明	実態 把握	把握中		
※1 軽油使用量の効率化 (収集運搬車の燃費向上)	(L/m ³)	7.7	7.6	9.6	126	×
	対基準(%)	100	(△1%)			
II. 水使用量の削減	m ³	17.0	16.8	15.0	89	○
	対基準(%)	100	(△1%)			
III. リサイクル処理の推進 自社排出廃棄物の リサイクル推進	排出廃棄物量(kg)	699.5		1,775.5		
	リサイクル 処理量(kg)	699.5		735.5		
	リサイクル化率(%)	100	100	41.42	41.42	×
	対基準(%) (基準年度が100%の場 合は維持。それ以外は 1%増)					
IV. ペーパーレス化の推進 紙使用量の削減 (ペーパーレス化)	枚数	実績 不明	実態 把握	把握中		
	対基準(%)					
V. 環境関連活動	環境に配慮したサービス 及びお客様の環境負荷の 低減及びSDGsの達成に 貢献する。	数値目標は定めず、お客様にメ スキュードシステムを勧める。		コロナウイルスの影響により新規営業は 出来なかったが、問い合わせや既存顧客 の品目追加により、メスキュードシステ ム(リサイクル)の契約を増やせた。		
	環境関連法規制等の 遵守	法規制等の無違反		違反なし		
	環境経営方針を全従業員 に周知し、環境意識の向 上を図り、環境に配慮し た行動の定着を目指す。	環境会議を3ヶ月に1度実施す る。 産廃協会主催の清掃活動へ参加 する。		環境会議の実施済み コロナウイルスの影響で今年度は中止		

注) 評価欄 ○: 達成、△: やや未達成、×: 未達成

※1 軽油使用量の効率化算出方法

軽油使用量(L)/収集運搬量(m³)×100
 2019年5月-7月の軽油と収集運搬量実績
 軽油 13,687L
 収集運搬量 1,761m³
 2020年5月-7月の軽油と収集運搬量実績
 軽油 18,238L
 収集運搬量 1,903m³

「二酸化炭素排出量」の購入電力排出係数は、本社は0.334kg-CO₂/kWh(関西電力)、岡山事業所、倉敷事業所は0.636kg-CO₂/kWh(中国電力)を使用しています。(平成30年度実績使用)

5.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	次年度	コメント
電力による二酸化炭素排出量の削減（本社）			
数値目標	○	■上方修正 □下方修正 □維持 □基準見直し	
1) パソコン・コピー機を省電力設定にする	○	継続	2018年度の実績を基準にした目標に向けて、環境活動計画に取り組みました。結果は二酸化炭素排出量を7%程削減することが出来ました。各取組みの効果に加え、大きな要因としては、事務所の照明設備をLEDに切り替えたことが考えられます。引き続き、節電の意識を高めながら、その他の取組みを継続します。
2) エアコンの設定温度を守る（冷房28度、暖房20度）	△	強化	
3) エアコンの使用を最小限に抑える（窓の開閉などが出来る気候の場合）	○	継続	
4) 空調機のフィルターの定期清掃を行う（月1回）	○	継続	
5) コピー機のカラー印刷をなるべくモノクロ印刷で行う。	○	変更	
6) 給湯室、洗面所の電気の消し忘れをなくす	○	継続	
7) 適宜、省エネ型照明器具へ切り替える。	◎	継続	
電力による二酸化炭素排出量の削減（岡山事業所・倉敷事業所）			
数値目標	○	■上方修正 □下方修正 □維持 □基準見直し	
1) パソコン・コピー機を省電力設定にする	○	継続	本社と同様の環境活動計画に取り組みだところ、二酸化炭素排出量を12%程削減することが出来ました。岡山事業所の照明をLEDに切り替えたことが大きな要因と考えられます。引き続き、その他の取組みを継続します。
2) エアコンの設定温度を守る（冷房28度、暖房20度）	△	強化	
3) エアコンの使用を最小限に抑える（窓の開閉などが出来る気候の場合）	○	継続	
4) 空調機のフィルターの定期清掃を行う（月1回）	○	継続	
5) コピー機のカラー印刷をなるべくモノクロ印刷で行う。	○	継続	
6) 給湯室、洗面所の電気の消し忘れをなくす	○	継続	
7) 適宜、省エネ型照明器具へ切り替える。	◎	継続	
自動車燃料による軽油使用量の効率化(収集運搬車の燃費向上)			
数値目標	△	□上方修正 □下方修正 ■維持 □基準見直し	
1) 急発進・急加速の禁止	◎	継続	目標に向けて取り組みましたが、結果は運搬1m3あたりの軽油使用量が26%増加しました。原因として考えられるのは、コロナウイルスによる影響で、一回あたりの排出量が大きく減少したが、回収頻度は変えることが出来ないため、運搬効率がわるくなったこと。また、運転手新規雇用に伴い、自社による運搬が増え、燃料の使用が増えたことがあります。新たに積替保管施設を設置したことで、今後、運搬効率が良くなることが期待されます。
2) アイドリングストップ等のエコドライブをする	△	強化	
3) 運搬車両に不必要な物を積まない	◎	継続	
4) エアコンの使用を最小限に抑える（窓の開閉などが出来る気候の場合）	△	強化	
5) タイヤの空気圧チェック	◎	継続	
6) 運転ルートのチェック	○	継続	
収集運搬における環境配慮（事業所内で使用する重機の軽油使用量の削減）			
数値目標		□上方修正 □下方修正 □維持 □基準見直し	
1) 急発進・急加速の禁止	◎	継続	各環境活動計画に取り組みました。概ね計画通り取り組みましたが、アイドリングストップの実施が不十分に感じるため、その点の意識を高める必要があります。
2) アイドリングストップ等のエコドライブをする	△	強化	
3) タイヤの空気圧チェック	◎	継続	
4) 適正な車両の整備	◎	継続	
水使用量削減（節水の取組）			
数値目標	○	□上方修正 □下方修正 ■維持 □基準見直し	
1) 洗車の際、こまめに水量の調節を行う	○	継続	目標に向けて取り組んだところ、結果は水使用量を11%削減することが出来ました。取り組みの効果に加え、基準年度の特異要因（水の使用が多くなる業務）が考えられます。引き続き節水の意識を高めながら、取り組みます。
2) 使用の都度、止水を行う	○	継続	
3) 水道配管からの漏水を定期的に点検する	○	継続	
4) 蛇口の閉め忘れの確認を行う	○	継続	
自社排出廃棄物のリサイクル推進			
数値目標	△	□上方修正 □下方修正 ■維持 □基準見直し	
1) 分別を徹底する。（金属缶、ガラス瓶、プラスチック、電池等）	○	継続	自社廃棄物のリサイクル率は57%減少しました。原因は、事業所内の不要になった雑品（梱包用パレット等）をスポットで排出したことが主な要因です。今後、リサイクル意識の向上や、リサイクル処理先の確保をすすめます。
2) 再利用・再生利用の比率を上げる。	△	強化	
3) 従業員のリサイクルに対する意識を高める。（環境方針・目標・活動計画の周知）	◎	強化	
紙使用量の削減(ペーパーレス化)			
数値目標		□上方修正 □下方修正 □維持 □基準見直し	
1) 使用済み用紙の裏紙を利用する	○		概ね計画通りに取り組みました。電子契約を導入したことによる効果が期待されます。
2) 両面印刷、両面コピーを実施する	○		
3) PDF化して管理する。	◎		
環境関連活動			
目標	○	□上方修正 □下方修正 □維持 □基準見直し	
1) 環境関連法規等を遵守する。	◎		環境関連法規等の遵守は問題なし。コロナウイルスの影響で新規営業がストップしたことで、お客様への提案が出来ていません。
2) お客様にリサイクル処理を勧める。	○		
3) 産廃協会主催の清掃活動に参加する。	○		

6.環境関連法規への違反・訴訟等の有無

1. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

関連法規等	遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・委託契約書 ・マニフェストの管理 ・収集運搬実績報告 ・処分実績報告 ・業許可の更新手続き ・保管基準の遵守 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 ・運搬車両への表示義務、書類携行 ・水銀関係廃棄物に係る廃棄物処理法施行令 	適合
自動車NO _x ・PM法	<ul style="list-style-type: none"> ・対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用（車種規制） 	適合
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・消火設備の設置 ・事故時の措置と届出（通報） 	適合
道路運送車両法	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検整備 ・定期点検・整備 ・点検/整備記録、保存 	適合
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフト 定期自主検査 ・第一種圧力容器 定期自主検査 	適合
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・該当する設備の簡易点検 ・フロン回収行程管理票の管理 	適合

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等の法令違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

2. 教育訓練について

年間教育計画書に基づいて、産業廃棄物の適正処理、環境経営に関する教育を年1回以上行っています。

当社の事業活動に関する環境法令の中で特に重要なものの一つ「廃掃法」については、改正が多いため、改正情報の入手が重要となります。そのため当社では、加盟している産業廃棄物協会からの通知や、インターネットの活用、自治体に問い合わせる等の方法で入手しています。

改正の都度、教育訓練を行う事で法令等の遵守に対応しています。

また、年1回、防災訓練（火災、イレギュラー時の想定）を行っています。

7.代表者による全体の評価と見直し

今年度よりエコアクション21による環境配慮経営に取り組みはじめました。

活動を通じて環境負荷の低減を図り、経営理念である

「持続的成長が可能な未来を実現すべく」寄与できるよう、計画の実行を行ってまいりました。

また、活動の状況を公表することで、企業として経営の透明性を強化することが出来ればと考えています。

環境負荷の実績としては、電気の使用による二酸化炭素排出量は前年度比で削減でき、目標を達成できました。

燃料の使用による二酸化炭素排出量は前年度比で増加し、目標未達成となりました。

水使用量は前年度比で削減でき、目標を達成できました。

イレギュラーな要因があり目標達成できていない項目がありましたが、今後も取り組みを継続すること、PDCAサイクルを着実に回すことで、環境意識の向上を図り、環境に配慮した行動を実行してまいります。

8.環境経営活動の紹介

<省エネ(LEDに変更)>

本社の蛍光灯を2020年4月17日に変更



<ゴミの分別>資源分別の徹底

<火災訓練>2020年7月14日
岡山・倉敷事業所にて、火災訓練を実施



■岡山県産廃協会主催の清掃活動に参加

実施日時：2019年11月5日

場所：貝殻山 金甲山付近

収集量：約18t

